

キバナノアマナ *Gagea lutea* (L.) Ker Gawl.

【評価理由】

個体数階級 3、集団数階級 4、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 2、総点 14。温帯性の早春植物で、愛知県では生育地、個体数ともに極めて少ない。

【形態】

多年生草本。地下に卵形で直径 1cm ほどの鱗茎がある。根出葉は 1 個、線形でやや厚く、長さ 15～30cm、幅 5～10mm、はじめ軟毛が少しあるが、後に無毛となる。花期は 4～5 月、花茎は高さ 15～25cm で、その先端に 4～10 個の花が散形状につく。花柄は長さ 1～5cm、花被片は 6 個で黄色、線状長楕円形で長さ 12～15mm、先端は鈍頭、雄ずいは花被片より短い。

【分布の概要】

【県内の分布】

東：2 豊根 (村松正雄 15045, 1994-4-17)、8 鳳来北東部 (芹沢 87558, 2012-4-7)。3 東栄 (本郷高校裏, 鳥居喜一 11840, 1956-4-8, HNSM) で採集された標本もある。

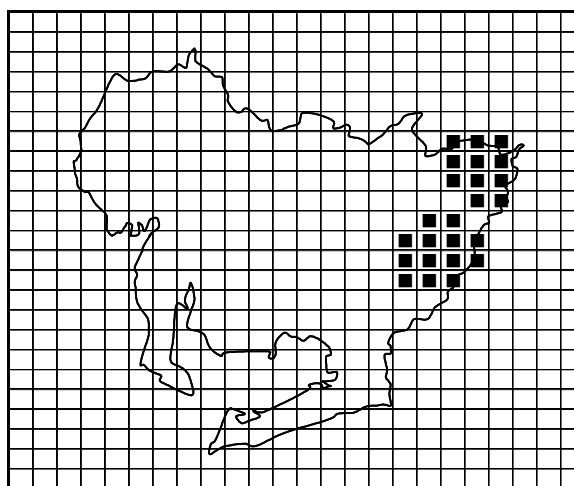
【国内の分布】

北海道、本州、四国。ただし本州西部と四国では少ない。

【世界の分布】

ユーラシア大陸北部に広く分布する。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

山地の草地や林縁、明るい林内などに生育する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

2 区画の各 1 カ所で確認されているが、どちらも個体数が少なく、また減少傾向も著しい。草地の利用停止に伴う被陰と園芸目的の採取が、減少の主要な要因である。

【保全上の留意点】

生育地の草刈りを継続し、草地状態を維持することが必要である。園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。

【関連文献】

保草本Ⅲp.118, 平草本 I p.35, 平新版 1 p.171, SOS 旧版 p.93.